

編集後記



「私の東谷津構想」

絶滅危惧種のホテルジョウを殖やす池作りに始まって、作業の中で見えて来たことを踏まえて、動きの中に無駄のない空間を創って行きたい。ぬかるむ事のない川沿いの道、池周り、階段は山側にも作り、滑って怪我をしないよう、手を入れて行くつもりだ。履物や道具の洗いは、長靴はもちろん靴で来た人でも使い心地の良いものを目指した。東谷津での「飯能市手をつなぐ育成会」との係わりの中、多くの母と子の参加を望みピザをみんなで作って食べられるように石窯作りを考えた。熱した窯の

やませみ

57

発行日/2010年5月15日
編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)
埼玉県飯能市柳町18-17

- 機関誌「やませみ」は「銀河堂」「Café豆さる」にあります。
- 「やませみ」へのご意見をお寄せください。投稿もお待ちしています。
URL=<http://www.tenranzan.com/>
E-mail=tenta@tenranzan.com

会員募集中!!

1995年、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

- *年会費 ●正会員……普通会員 2,000円
特別会員10,000円
- 賛助会員……1口10,000円

*会費・カンパ送り先
郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」00580-9-16342

中へピザを入れると数分で出来上がる。パンも作りたい。土地の粘土を使った陶器作りの計画もある。山に植えた果樹の花は何時見られるだろう。果実の収穫も楽しみにしている。
(会員 紙田義信)

日よう日ふる里散歩

当会では天覧山周辺の自然に親しんでいたために毎月「ふる里散歩」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

◆6月27日(日) 「ほたるの夕べ」の巻

(要申込み 先着30名)
集合/能仁寺山門前 午後7時
持ち物/長靴・懐中電灯
参加費/大人300円 子ども100円
問合せ・申込み先 (042-974-1691浅野まで)



◆7月18日(日) 「虫ムシ探検隊」の巻

集合/飯能市郷土館 午前9時
(終了12時頃)
持ち物/長袖・長ズボン・帽子
(蜂対策で黒色避ける)
参加費/200円
問合せ/さいたま緑のトラスト協会
048-824-3661



◆8月8日(日) 「名栗川を歩いてみよう」の巻

集合/能仁寺山門前 午前9時半
持ち物/川を歩ける服装(運動靴で)
着替え・飲み物・お弁当
参加費/大人300円 子ども100円



★いずれの場合も雨天中止
共催/はんのう景観トラスト、(財)埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部、はんのう市民環境会議



NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

No.57

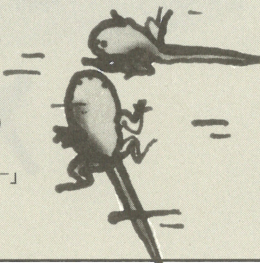
2010.5.15

やませみ



もくじ

- イノシシの叫び声/高沖義則(はんのう市民環境会議 会員)
- モニタリングサイト1000(通称モニ1000)2年目の調査を迎えて「モニ1000植物調査に参加して」/原田恵子
「アカガエルの卵かぞえ」/山梨光明
- 「里山づくりシンポジウム」を開催/浅野正敏(てんたの会 代表)
- 天覧山山頂売店閉店に寄せて/秋郷伸一
- 「おいでよ!天(てん)・多(た)の森へーパンフレットできましたー」
- 広島で里山で宝物みつけと春のお好み焼き/石岡真由海
- 日よう日ふる里散歩のおしらせ●編集後記



イノシシの叫び声



谷津田に植えた稲が、イノシシ被害を受けたのは去年のことである。植林前の奥山は、彼らにとって食べ物の豊富な生息圏であった。シカやサルそれにクマについても状況は同じである。その生息圏を人里近くに換えざるを得ない状況をつくったのは、私たち人間であり「俺たちも生きる権利がある。」と、叫び声が聞こえてくるようだ。彼らもサバイバルに必死であり、仮に、この地方に出没しなくなっても、場所を変えるだけだろう。奥山でも、里山でもいい、ほんの一部を彼らの生息圏に戻すならば、危険な思いをして、わざわざ人里に出てくる必要もなくなるにちがいない。環境省の「生物多様性国家戦略」が目指す「100年後の国土のイメージ」を現実のものとするには、すぐにでもこの課題に取り組むべきではないだろうか。(はんのう市民環境会議 高沖義則)

モニタリングサイト1000 2年目の調査を迎えて



天覧入りのネコノメソウ

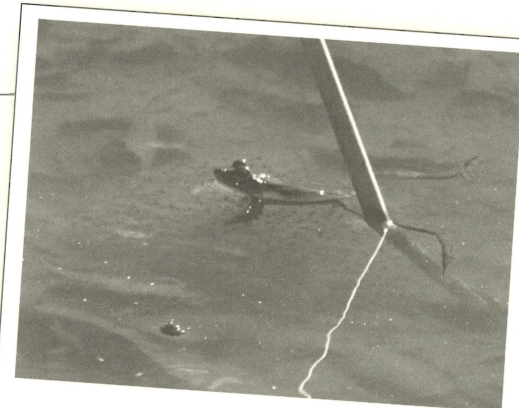
モニタリング植物調査に参加して

私が担当する植物調査が始まって1年半がたちます。この調査は、草花の中で、つぼみ、花、実のついてある物を見つけ、記録する調査で、月に1回、天覧山周辺の同じルートを回ります。1年調べてわかったことは、四季の中で、秋に1番種類が多くなるという事です。夏の花が残り、実や秋の花が加わり種類が多くなるのです。

さて、春から夏さらに秋と、いろいろな草花が次々に咲きます。今年はどんな妖精たちに会えるでしょうか。下を見ながら調査をしていると、何があるのですかと声をかけられることがあります。山を歩いていると、足元の小さな草花は、なかなか目に入りませんが、雑草とひとくりにされる草花にも、1つ1つ名前があります。今まで気にも留めなかった小さな草花に、会いに来ませんか。

(会員 原田恵子)

モニタリングサイト1000 (通称モニ1000) は、全国1000箇所で行なわれている環境省の自然環境調査です。当会もモニ1000に参加し、さまざまな自然環境調査(植物、カエル、蝶、鳥、カヤネズミ、ホタルなど)を、随時行っています。



卵を抱えるアカガエル

アカガエルの卵がぞえ

ここ2,3年のことだが、私の年明けはモニ1000のアカガエルの卵塊数を数える調査で始まる。アカガエルの仲間は、1匹の雌がひとつの卵塊しか産まない。その数でエリア内の雌の個体数が推定できるのだ。

この一見地味な調査にも楽しみがある。調査の途中、「ケケケッ」と1匹が鳴き出す。と、途端に「キュキュキュ、キョキョキョ」と大合唱。気付かれないよう頭を低くして、声の方に近づく。抜き足差し足忍び足さらにほふく前進と、あらゆる前進技術を駆使して進む。池には無数のアカガエルが、誰彼かまわず抱きついている。カエル合戦が始まったのだ。

(会員 山梨光明)

